



マルク・シャガール《『ダフニスとクロエ』扉絵》1961年  
リトグラフ、紙 神奈川県立近代美術館蔵（望月富防コレクション）  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2012, Chagall® [E0059]

[第2展示室および彫刻室]

—漂流と原形—

## 江口 週 展

彫刻／デッサン

—Drift and Origin—

EGUCHI Shu Sculptures/Drawings

[第1展示室]

## シャガールとマティス、 そしてテリアード

20世紀フランス版画と出版

French Prints and Publication in the 20th Century

Chagall, Matisse, and Tériade



江口週《作品 G-No.1》1960年  
木(サクラ) 三重県立美術館蔵



江口週《デッサン》1961年  
インク、紙 作家蔵

2つの展覧会を同時開催。第1展示室の「シャガールとマティス、そしてテリアード 20世紀フランス版画と出版」では20世紀のフランス版画を、第2展示室と彫刻室の「江口週展」では彫刻家江口週(1932-)による彫刻とデッサンを、近作を含め紹介します。

**神奈川県立近代美術館 鎌倉 2012年9月22日(土・祝)-12月24日(月・祝)**

休館日:月曜日(ただし10月8日、12月24日は開館)

開館時間:午前9時30分-午後5時

(入館は午後4時30分まで)

観覧料:一般 700円(団体600円)、20歳未満・学生 550円(団体450円)、65歳以上 350円、高校生 100円

※( )内は20名以上の団体料金です。※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

※ファミリー・コミュニケーションの日:毎月第1日曜日(今回は10月7日、11月4日、12月2日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催:神奈川県立近代美術館

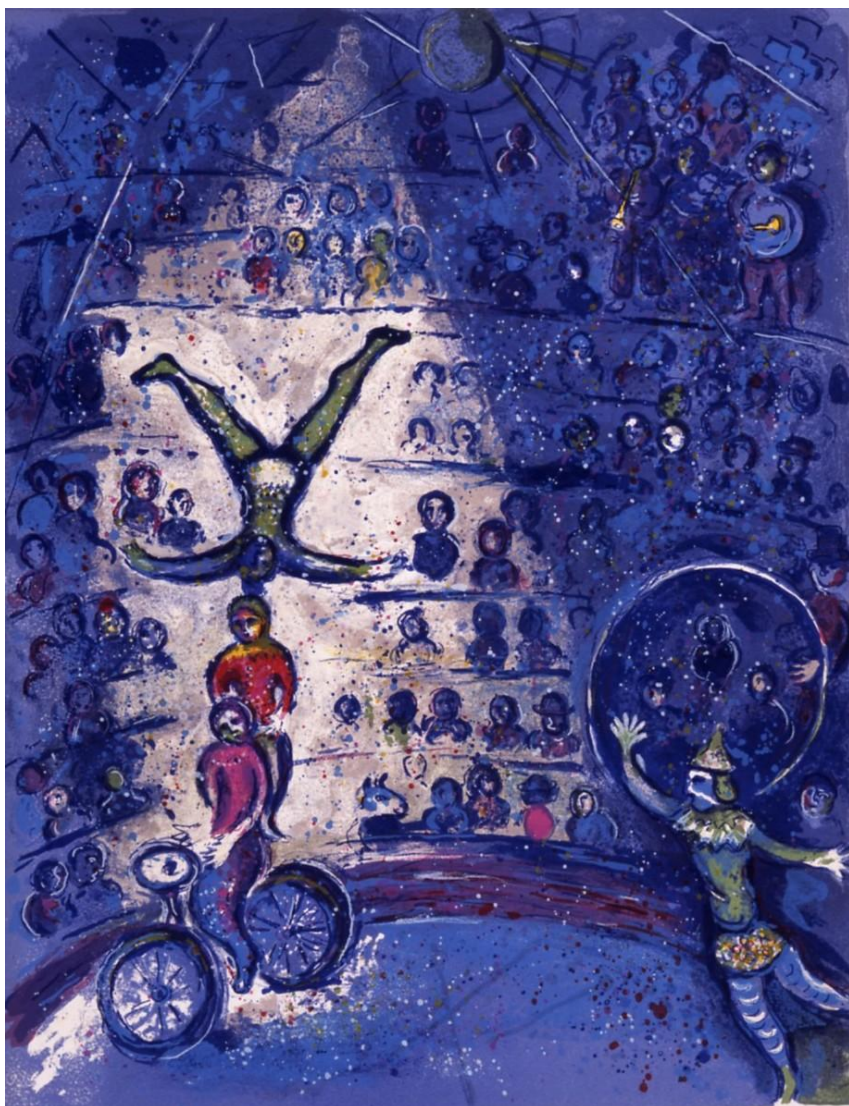
■無料開館日

「神奈川県立近代美術館 開館記念の日」:11月17日(土)は、神奈川県立近代美術館で開催中の展覧会をすべて無料でご観覧いただけます。

お問合せ先:神奈川県立近代美術館 鎌倉 tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-1-53  
広報担当:松尾、酒井 展覧会担当:李(シャガールとマティス、そしてテリアード)、是枝(江口週展)







マルク・シャガール 《『サーカス』No.2》1967年  
リトグラフ、紙 神奈川県立近代美術館蔵（望月富防コレクション）  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2012, Chagall® [E0059]



マルク・シャガール 《『サーカス』No.20》1967年  
リトグラフ、紙 神奈川県立近代美術館蔵（望月富防コレクション）  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2012, Chagall® [E0059]



アンリ・マティス 《『ジャズ』2 サーカス》1947年  
ステンシル、紙 神奈川県立近代美術館蔵（山口蓬春文庫）



雑誌『ヴェルヴ』より

## シャガールとマティス、そしてテリアード 20世紀フランス版画と出版

20世紀を代表するフランスの画家シャガールとマティスは、ともに、色彩豊かな版画の作り手としても巨匠といえる作家です。その仕事を代表する版画作品とともに、彼らの版画出版を大きく支えた美術出版・編集者テリアードの仕事にも光を当てる展覧会です。

20世紀は社会の階級や生活スタイルが大きく変わり、「豊かな生活」を求める人が増えた時代でもあります。この変化を受けて、多くの人が美術作品を所有したいと望むようになります。そのニーズに応えるように、かつてないほどの隆盛を誇ったのが、多色刷りで質の高い版画集の出版でした。1点ものの絵画を持つのと同じような気持ちで、人々が豪華な版画集を手取るようになったのです。巨匠といわれる作家たちが、こぞって版画集の出版を行い、それが更に版画集の質を高めていきました。

この流れを最も強く支えたのが、美術本の出版を行い、編集者でもあったギリシア生まれのテリアード（本名 エフストラティオス・エレフテリアーデス 1897-1983）でした。シャガール、マティス、ジャコメッティ、ミロ、ピカソ、ルオーなど、巨匠といわれる作家たちと多くの仕事を一緒に手掛け、彼らの版画集や挿絵本の出版はもちろん、自らが編集する雑誌『ヴェルヴ』にも、彼らの作品を高品質のリトグラフ図版で紹介しました。テリアードが手掛けた美術本は、図版の再現性の質が非常に高く、作家との試行錯誤の精度も抜きん出ていました。その結果、単なる版画とも印刷ともつかない、高品質の美術本が生まれていったのです。

色彩豊かな絵画の巨匠として知られるシャガールやマティスも、テリアードの後押しによって豪華な版画集や本を出版した作家です。マルク・シャガール（1887-1985）は、ロシアに生まれパリで活躍しました。油彩・版画・壁画・ステンドグラスなど、シャガールの仕事は多岐にわたりますが、特に版画には2000点を超える作品を残しており、自らも版画が重要なジャンルであったと語っています。シャガールの版画の代表作《ダフニスとクロエ》と《サーカス》は、どちらもテリアードによる出版です。色の再現にこだわったシャガールは、1つの作品に20ものリトグラフ版を用いました。アンリ・マティス（1869-1954）も、フランスで活躍した作家で、油彩・版画・ステンドグラス・切り紙絵と、多彩な仕事があります。一面に色を塗った紙を切り抜いた切り紙絵で原画を制作した《ジャズ》は、マティスにとって新境地を開いた作品でした。出版に際して印刷の再現性にこだわったマティスは、その印刷技法をテリアードと試行しつづけ、最終的にテリアードが提案したステンシル版で出版するまでに3年の時間を要しています。

Marc Chagall (1887-1985) and Henri Matisse (1869-1954), who are well-known for their colorful paintings, also showed great talent in printmaking. This exhibition features 20th century French prints including spectacular series such as *Daphnis and Chloe* and *Le Cirque* by Chagall and *Jazz* by Matisse. Also on view are publications which supported these artists such as the art journal *Verve*. *Verve* was edited by Teriade (1897-1983), who was a key figure in publications on art in those days and also produced portfolios of prints by Chagall and Matisse.

### ■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月29日[土]、12月22日[土]

各回 午後2時-2時30分 \*申込不要、無料（ただし展覧会の観覧券が必要です）





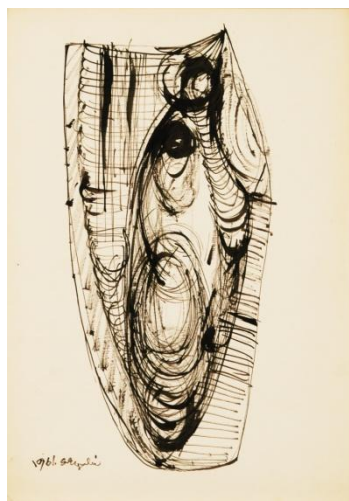
《あるはじまりのかたち 2》1984年 木(クス) 三重県立美術館蔵



《鏝形の碑—No.5》1965年 木(カバ) 神奈川県立近代美術館蔵



《作品 G-No.5》1962年 木(クルミ) 三重県立美術館蔵



《デッサン》1961年 インク、紙 作家蔵



《デッサン》1961年 インク、紙 作家蔵

## —漂流と原形— 江口 週 展 彫刻/デッサン

クスなどを素材にした量塊感に溢れる木彫で知られる江口週(1932-)は、京都に生まれ、1956年に東京藝術大学美術学部彫刻科を卒業後、1960年代初頭から注目されはじめました。その頃から現在まで、素材に隠された彫刻のかたちを、構築的空間への強靱な意志によって抽出し、簡潔でありながら複合的で豊かな彫刻世界を繰り広げています。一方、そのデッサンは、彫刻家が制作の初期段階で抱いた感情や着想を瞬間的にとどめており、その思考や創造の過程、あるいは完成した彫刻だけでは分からない作者の意図を見てとることができます。本展では、1960年代に制作された作品と最新作を併せて展示し、そのデッサンと彫刻を通して、抽象彫刻の第一人者としての仕事の展開を再検証します。江口週の原初的で根源的な高いレベルの造形感覚をご堪能いただける展覧会です。旧作と新作、あるいは彫刻とデッサン、それぞれの作品世界が共鳴し、わたしたちに彫刻を見ることの喜びやゆっくりと作品空間と対話する貴重な時間をもたらしてくれることでしょう。

EGUCHI Shu (b.1932) is known for his wooden sculptures made of camphor tree and overflowing with mass. He began to attract attention from the early 1960s and extracts the alternative sculpture hidden in the form unique to the material by means of the power of an unyielding determination towards the constructive space. He unfolds a sculptural world in which the forms are simple yet filled with complex and richly tense spirituality. EGUCHI's drawings instantaneously capture the feelings and ideas that the sculptor entertains at the initial stage of production. They illustrate his thoughts, the process of his creations, and the sculptor's intentions, which cannot be deciphered from the completed sculpture alone. This exhibition consists of works created in the 1960s and recent works. Through his drawings and sculptures, the development of the work by this leading authority in abstract sculpture is reexamined.

### ■江口週氏によるアーティストトーク

日時:10月13日[土] 午後3時-4時 会場:神奈川県立近代美術館 鎌倉 第2展示室

\*申込不要、無料(ただし展覧会の観覧券が必要です)

### ■担当学芸員によるギャラリートーク

日時:10月27日[土]、11月10日[土] 各回 午後2時-2時30分 \*申込不要、無料(ただし展覧会の観覧券が必要です)